

臨海部における津波避難ビルマップの改良について

◆趣旨◆

南海トラフ巨大地震に伴う津波からの避難対策の一つとして平成 26 年度に作成した「臨海部津波避難ビルマップ」について、より分かりやすく利用しやすいものとするため、港湾事業者ならびに港湾労働者組合に対するヒアリング等を実施し改良を行いました。

このたび、11 月 5 日の「世界津波の日」を前に、防災意識のさらなる高揚や防災力の向上を図るため、改良した「臨海部津波避難ビルマップ」を港湾関係者等へ周知し、港湾エリアにおける津波避難体制の更なる拡充を図ります。

◆主な改良点◆

- ・ 水平避難の目安となる道路等（国道 2 号線など）の位置関係をマップ上に追記
- ・ 臨海部の主要地点から、避難先の道路等までの移動距離・徒歩での必要時間を追記
- ・ 現在地の津波浸水の可能性を把握するため、津波による浸水想定地域を追記
- ・ 防災行政無線や防潮ライン等の整備箇所を追記
- ・ 避難時に上空からの落下物に注意を促すため、高架道路等を追記
- ・ 各地区の最高津波水位と最短到達時間の想定を追記



【改良前】



【改良後】

◆臨海部津波避難ビルマップについて◆

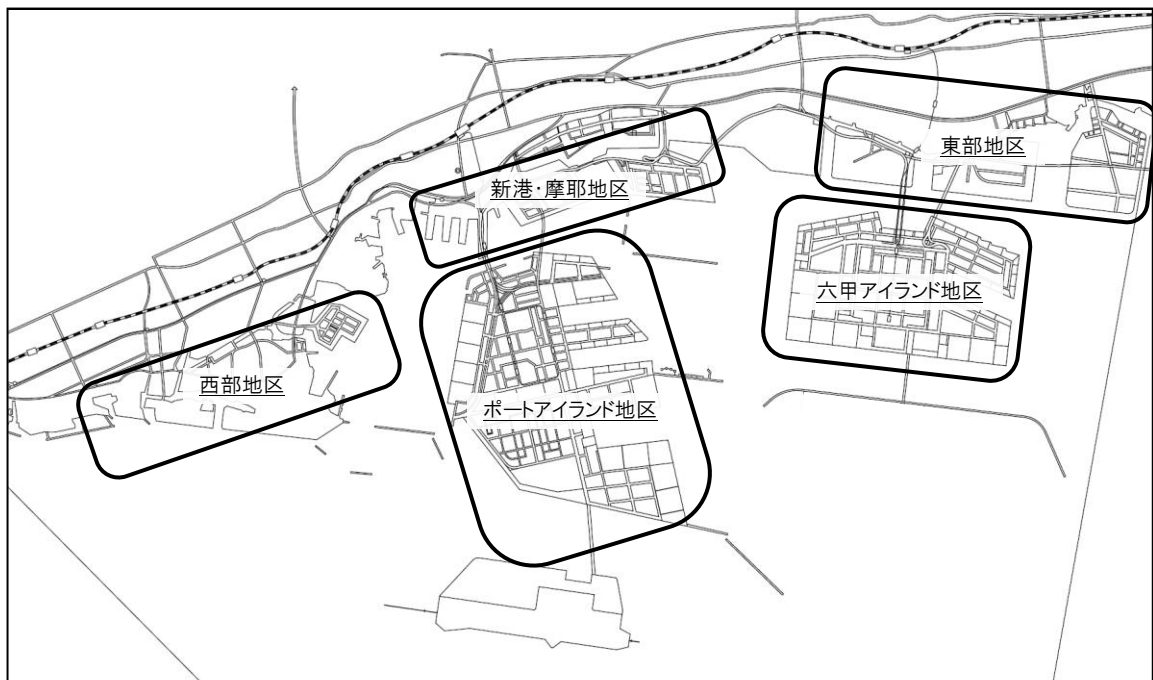
兵庫県が行った南海トラフ巨大地震の津波想定では、神戸市において、最高津波水位 T.P.+3.9m（中央区）、最短到達時間 83 分（垂水区）と予測されています。

特に臨海部では津波の影響を受ける恐れがあり、これらの地域で働く方々は、津波発生時に少しでも早く「高い」場所に避難していただく必要がありますが、高台へ避難する時間的余裕が無い場合、近くの堅牢で高い建物（3 階相当以上）に緊急的に避難していただくことも有効な手段です。

このため、みなと総局では、兵庫県港運協会と共同で、臨海部の事業者や関係団体等のご協力をいただき、下記の港湾エリア（12 地区）で、津波時に避難が困難な人等を受け入れることができる緊急待避所を示した「臨海部津波避難ビルマップ」を作成しています。

◆対象エリア◆

ポートアイランド地区、六甲アイランド地区（東部、西部）、東部地区（第 2 工区、第 3 工区、第 4 工区）、新港・摩耶地区（摩耶ふ頭、新港東ふ頭、新港突堤）、西部地区（兵庫ふ頭、遠矢浜、苅藻島）



対象エリア図

◆関連リンク◆

みなと総局技術部海岸防災課ホームページに、「臨海部における津波避難ビルマップ」を掲載しています。

* この資料は、市政記者クラブ、海運記者クラブ、民放記者クラブに配布しています。